

寒い日は、みんなでeスポーツ 令和6年度子どものつどい

1月9日、仁賀保公民館で冬休み恒例の子どものつどいが行われ、平沢・院内小の児童24人が参加しました。正月明けの大雪となったこの日、児童たちは4つのゲームタイトルでeスポーツ対戦。普段おうちでやったことのあるゲームや初めて見るゲームに白熱しながらもルールを守り笑顔でコントローラーを握る姿が見られました。



▲大迫力の4人対戦ゲーム。応援にも力が入る！

寒さに負けず氣勢をあげて 令和7年合同寒稽古

1月12日、平沢海水浴場で武人修練空手道円掬会の主催による令和7年合同寒稽古が行われました。県内の実践空手5団体の4歳から70歳まであわせて30人が参加しました。道場から海水浴場までのランニングを終えると、冬の荒波が押し寄せる極寒の海に裸足で入水。体を震わせながらも氣勢をあげ、正拳突を繰り出し精神を鍛練する姿が見られました。



▲荒波に押されても、決めるぞ正拳突！セイッ！！

ぺろっと 鳥海山・飛島ジオパーク 第6期鳥海山・飛島ジオパーク認定商品審査会

1月8日、象潟構造改善センターで試食審査会が開催されました。試食審査は、書類審査を通過した商品を対象に実施され、応募者は商品とジオの繋がりと開発の経緯などを審査員に伝えていました。これまで45商品が認定され、地域ならではの食の魅力を発信する商品として、ジオパークのPRに一役買っています。



▲ゲスト審査員として仁賀保高校生も参加

本年の無災害を祈って 令和7年にかほ市消防出初式

1月11日、にかほ市消防出初式が金浦体育館で行われました。式では勤続章や有功章などの表彰のほか、昨年の豪雨災害について触れられた訓示がされ、参加した団員たちは改めて今年1年の防災について気持ちを新たにしました。式の最後にはまとい振り振興会による恒例のまとい振りが披露され、会場から歓声が上がりました。



▲真剣なまなざしでまといを振る団員たち

自分で打ったそばの味は格別！ 横岡稲倉そば・そば打ち体験

12月29日、横岡自治会館にて横岡稲倉そば生産組合による年越しそば打ち体験が行われました。今回で11回目を迎える体験会には市内外から約90人の親子連れが参加し、そばのこね方、延ばし方、切り方を生産組合代表の齋藤喜久男さんに教わりました。最後は試食会も行われ、自分で打ったそばの美味しさはひとしおのようでした。



▲協力してそばを延ばす子どもたち

社会情勢は穏やかに 七日堂曼荼羅餅占い

1月7日、小滝地区の金峰神社で七日堂曼荼羅餅占いが行われました。1年の天候や米の作柄、社会情勢などを、前の晩に年男がついた餅を使って占う伝統行事。お札に油を染み込ませ四隅に火を付け、燃え方でにかほ市の吉凶を占ったところ、金浦・象潟地域は豊作、そのほかの地域は平年作で社会情勢は穏やかになるだろうという結果となりました。



▲年男と餅の上で勢いよく燃え上がる炎

地域貢献活動の一環として TDK硬式野球部「白球米」贈呈

12月16日、金浦小学校でTDK硬式野球部による白球米贈呈式が行われました。白球米は「環境保全型スマート農法」に野球部が参画し栽培したお米（ひとめぼれ）で、この日は贈呈式のほかに、夏井主将、奥村捕手、伊藤内野手の3選手が児童と一緒に昼食で白球米をいただきました。白球米は金浦小学校のほかに市内小中学校に配付されました。



▲1年生の教室で一緒に昼食をいただく伊藤内野手

ネイガーと一緒にぺったん♪ぺったん♪ ねむの丘・新春餅つき

令和7年元旦、道の駅象潟「ねむの丘」で恒例の新春餅つきが行われました。超神ネイガーとジオン、ネイガールも駆けつけ、餅つき会場は大満員。参加した子どもたちは赤と青の半被をまとしてネイガー、ジオンと一緒にぺったんぺったん。会場からは「ヨイショー！ヨイショー！」の掛け声があがり、威勢のよいにぎやかな新年の幕開けとなりました。



▲ネイガーとお揃いの赤色の半被でぺったんこ♪